



## 愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会が

# 松山市にもたらした経済波及効果は、約 292 億円

平成 29 年に開催された愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会は、市民総参加のもと各競技団体の皆様をはじめ多くの方々の協力で、成功につなげることができました。

両大会の参加者数や大会開催経費などをもとに、松山市への経済波及効果について推計しましたので、その結果をお知らせします。（調査委託先：株式会社いよぎん地域経済研究センター）

### 1. 概要

経済波及効果 約 292 億円

経済波及効果	事業費に対する経済効果		雇用 誘発者数	延べ 参加者数
	直接効果	間接効果		
291 億 86 百万円	187 億 43 百万円	104 億 44 百万円	1.63 倍	2,808 人

注：四捨五入しているため合計と内訳が一致しない場合があります。

※直接効果 参加者の消費支出額（宿泊費・飲食費等）＋施設整備費・運営費等による効果。  
（県外からの財やサービスの調達が見込まれる分は除く）

※間接効果 直接効果によって県内の各産業にもたらされる生産誘発額＋参加者による消費の増加や生産誘発によって生じる雇用者所得の増加分が、新たな消費に向けられることによって県内産業にもたらされる生産誘発額。

### 2. 推計方法

(1) 愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会の参加者（選手・関係者、ボランティア、観覧者、報道関係者）数をもとに、参加者が市内で消費した金額（宿泊費や飲食費、土産代等）に加え、国体開催に伴う施設整備費および運営費等から推計しました。

・松山市内での開催競技および開閉会式の延べ参加者数は、愛媛県および松山市の資料から約 34 万人と推計しました。

・参加者による消費支出額は、愛媛県および松山市の資料から約 39 億円と推計しました。

・施設整備費・運営費等は、愛媛県および松山市の資料から約 179 億円と推計しました。

(2) 消費支出額および施設整備費・運営費等をもとに、「松山市産業連関表（43 部門：2012 年基準）」を用いて経済波及効果を算出しました。